

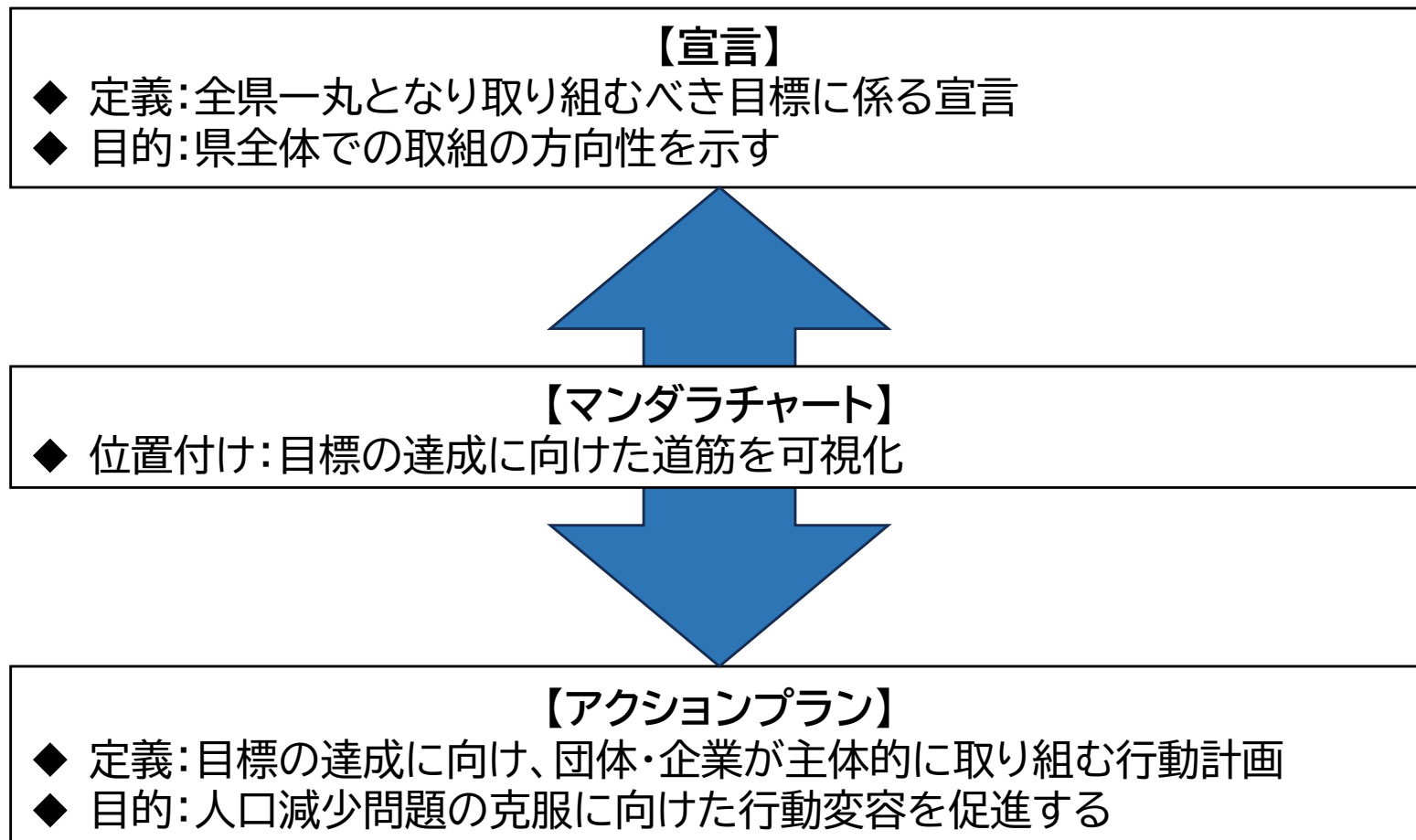
人口減少問題の克服に向けた取組について

令和7(2025)年4月24日
栃木県人口未来会議

人口減少問題の克服に向けた取組について

宣言・アクションプランとマンドラチャートの関係整理

- 人口減少問題の克服に向けて施策の実効性を県全体で高めていくため、今後、取りまとめを進める宣言やアクションプラン等について、次のとおり関係を整理する。



人口減少問題の克服に向けた取組について

マンダラチャートについて

- 「マンダラチャート」とは、目標達成や課題解決のために、行うべきことを明確化するフレームワークの1つ。
- 中心にある目標のほか、目標を補うサブ目標、それを具現化するアクションという3つの要素から成り立っている。

1. 目標

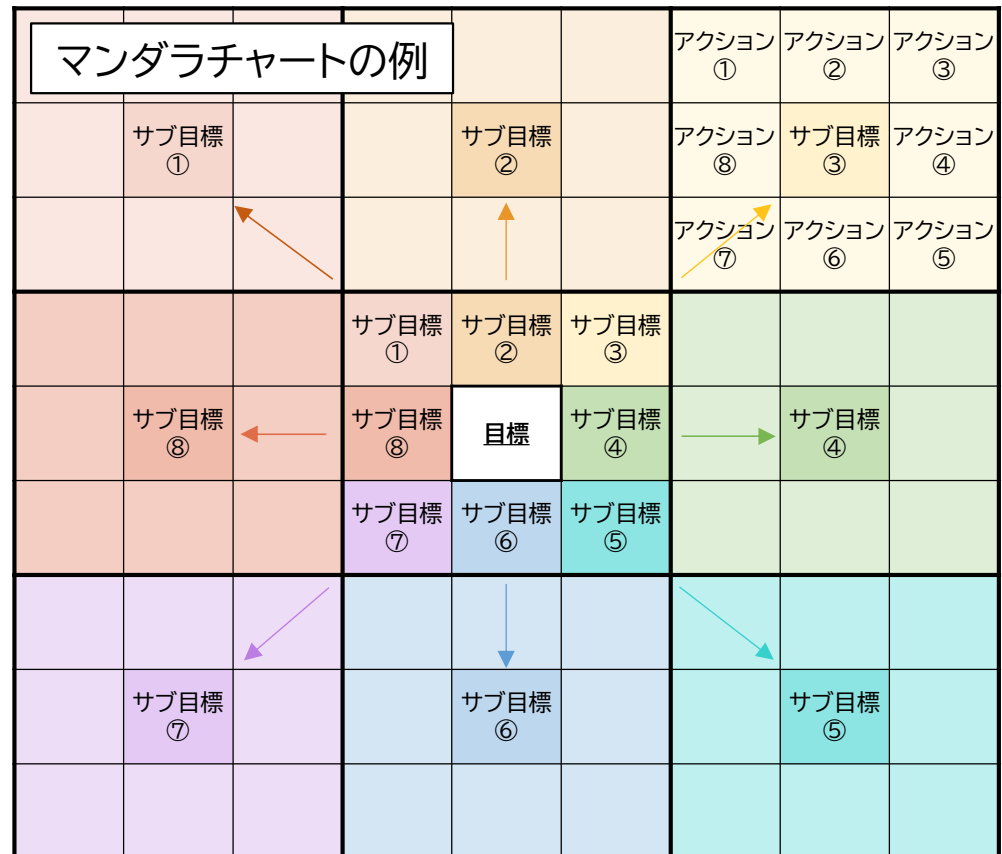
- 中心(中央)のマスに置かれる、達成したい最終目標。全体の基本になるため、具体的に設定する必要がある。

2. サブ目標

- 目標の外周に置かれ、目標達成に向けて取り組むべき領域や目標を構成する要素を記載する。
- 目標の大きなテーマ・要素を書き出すことで、完成時に抜け・漏れが減り、計画を遂行しやすくなる。

3. アクション

- サブ目標の外周に置かれ、サブ目標の内容を、さらに具体的な行動に落とし込んで記載する。
- 1つのサブ目標に対して、8つのアクションをリストアップすることで、サブ目標というテーマに対して実行するタスクを細分化・明確化することが可能。



人口減少問題の克服に向けた取組について

人口未来会議としての共通認識について

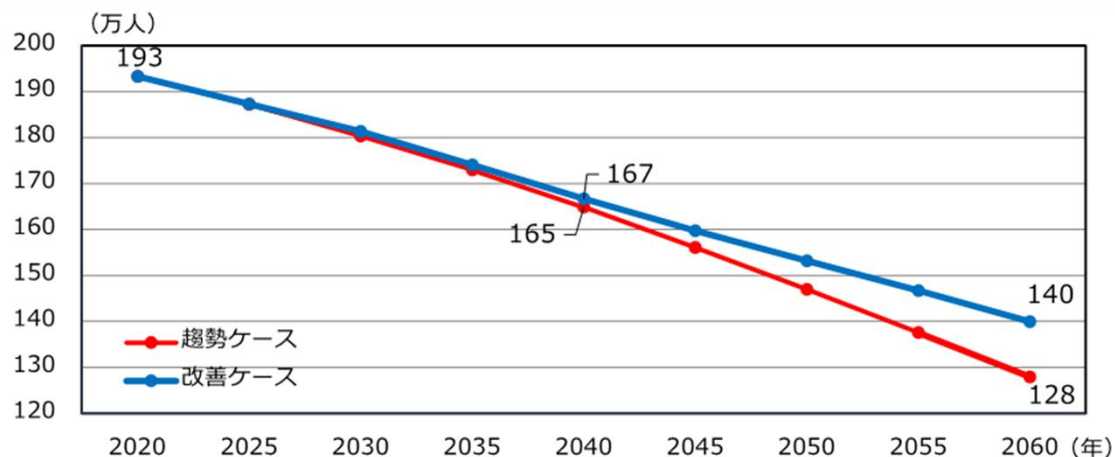
<次期プラン(第1次素案)における本県の目指す人口の将来展望>

栃木県が、将来にわたり、活力ある社会を維持するため、以下の条件のもと、令和42(2060)年に約140万人の総人口を確保することを目標としている。

1. 合計特殊出生率を「令和17(2035)年に1.47程度」及び「令和32(2050)年に2.07程度」に向上させる
2. 他都道府県への転出超過数を「令和12(2030)年に半減」及び「令和17(2035)年に±0に解消」させる

※国の「地方創生2.0」の基本構想等を踏まえ、県の目標を修正する場合がある

栃木県の総人口の将来推計（趨勢ケース・改善ケース）



資料：栃木県総合政策部集計（2024年12月）

出典：栃木県次期プラン
(第1次素案)(県総合政策課)

栃木県人口未来会議としての共通認識

人口減少問題の克服、具体的には、「出生率の向上」及び「転出超過の解消」に向けて、官民が協働し、自らが真剣に考え、行動を起こし、主体的に取り組む

人口減少問題の克服に向けた取組について

マンダラチャート作成イメージ

1. 目標

①出生率の向上、②転出超過の解消

2. サブ目標

課題①:未婚化の進行

⇒婚姻率の上昇、仕事と子育ての両立

課題②:夫婦の出生率の低下

⇒望む妊娠・出産ができる、子育てしやすい

課題③:女性人口の減少

⇒若者・女性に選ばれる、移住・定住の増加

3. アクション

・右に記載のとおり

(赤字は就業環境に関係するもの)

			若年層の 所得向上		女性の 所得向上	育児休業 制度の充実	子育て環境の 充実	男性の 家事育児参加
				婚姻率 の上昇	ライフデザイ ン教育		仕事と子育て の両立	
						柔軟に働ける 環境の整備		
	プレコンセプ ションケアの 推進			婚姻率 の上昇	仕事と子育て の両立	柔軟に働ける 環境の整備	子育て環境の 充実	男性の 家事育児参加
安全・安心な 医療体制	望む妊娠・ 出産ができる		望む妊娠・ 出産ができる	・出生率 の向上 ・転出超過 の解消	子育て しやすい		子育て しやすい	
	不妊治療 制度の充実	地域支援(シ ニアの活躍)		若者・女性 に選ばれる	移住・定住 の増加		教育環境 の充実	地域支援(シ ニアの活躍)
			魅力ある まちづくり		ジェンダー 平等の実現	地域採用枠	ふるさとへの 愛着心	
				若者・女性 に選ばれる			移住・定住 の増加	ジェンダー 平等の実現
			教育環境 の充実	女性に 魅力ある 雇用			女性に 魅力ある 雇用	魅力ある まちづくり



項目の追加や修正等、
御意見を頂きたい